

2000年

第6回くまもとアートポリス推進賞



kap



くまもとアートポリス
kumamoto artpolis

熊本県

2000年のくまもとアートポリス推進賞の審査を終えて

選考委員長 堀内清治

今年の推進賞には54件の応募があり、ここに発表した7件にアートポリス推進賞選賞を贈ることになった。審査の過程で委員会で話し合われた内容は、それぞれの委員が分担した推薦文に要約されている通りである。

今年の審査では、幾つかの建物について、非常に高い評価をする委員と、寧ろ否定的な意見を述べる委員とに分かれ、意見の集約をはかることが困難であったことが特徴と言えるかも知れない。これは委員各位が大変熱心に審査に取り組んで下さった結果であり、含蓄の深い討論には教えられる点多かったが、そのため、結局、推進賞は諦めて7件すべてが選賞となったことには、心残りをを感じる委員もおられるだろうと想像している。

熊本県の住宅には圧倒的に木造が多い。長い歴史を持つ我が国の木造建築は、技術的にも意匠的にも既に完成の域に達している。木造軸組み構造というと、我々はすぐに昔の日本建築を連想する。外見は新しい時代に相応しいデザインを凝らしてはいても、骨組みは昔のままだと考えてしまいがちである。然し、時代の変化は建築の造り方にも大きな変化を及ぼしている。一例をあげると木材の乾燥の問題がある。今では、極端に言うと、山から伐り出した材木をトラックに積んでその日の中に製材所に運び、翌日には建設現場に送ることもできる。これは昔は想像もできなかったことである。伐採から製品化までの時間を短縮することは、勢い、乾燥

が不十分な材木が市場に出回ることを意味している。このことは、建築の質を低下させ、やがては県産材の評価を下げる原因ともなりかねない。

これに対して、今回はじめて民間の業者から材木の自然乾燥・産直システムが提案された。委員会では、「この提案はこの問題に対するブレイクスルーを目指したものであり、今後の展開によっては、熊本の建築の質を高めるために、大きな成果をあげる可能性を秘めているのでは」という意見もあり、多角的に議論されたことを報告しておきたい。





くまもとアートポリス
推進賞選賞

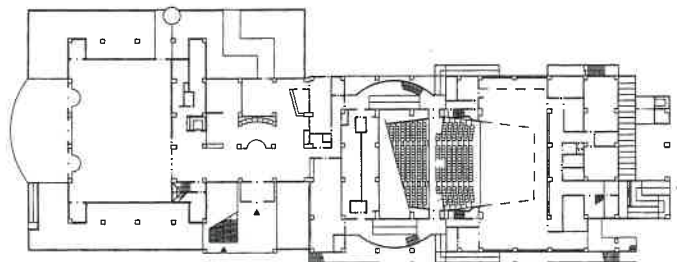


やっしろハーモニーホール

- 事業主 ■ 八代市
- 設計者 ■ (株)桜樹会・古川建築事務所
- 施工者 ■ (株)銭高組九州支店
東・中尾・平野 建設工事共同企業体
- 所在地 ■ 八代市新町4番1号
- 竣工 ■ 平成12年3月
- 用途 ■ 劇場・会議場
- 階数 ■ 地上4階、地下1階
- 構造 ■ 鉄骨鉄筋コンクリート造
- 敷地面積 ■ 16,602.39㎡
- 建築面積 ■ 3,809.77㎡
- 延床面積 ■ 6,101.48㎡

この施設の優れている点は、市民からの積極的な利用に対し、各機能の適切な規模設定がまず挙げられる。ホール空間も程良いスケールであり、設計者のデザイン的コントロールもよく効いている。その他の内部空間は、デザイン的密度に若干のもの足りなさを感じはするが、異なる機能の複合のしかたも、無駄なくコンパクトにまとまっている。

早川邦彦

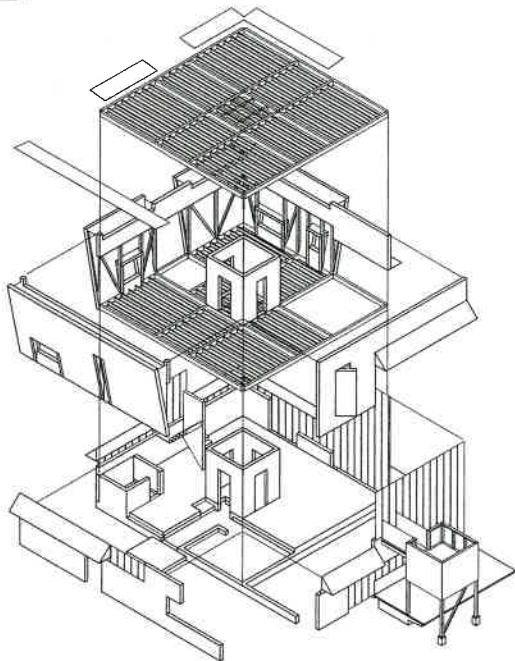




くまもとアートポリス
推進賞選賞

城南の舎

事業主 ■ 小材健治・小材美佐
 設計者 ■ ばん設計小材事務所
 施工者 ■ (株)山口工務店
 所在地 ■ 下益城郡城南町隈庄796-1
 竣工 ■ 平成11年12月
 用途 ■ 専用住宅
 階数 ■ 地上2階
 構造 ■ 木造
 敷地面積 ■ 656.13㎡
 建築面積 ■ 103.25㎡
 延床面積 ■ 165.83㎡



建築家の自邸だからこそ許される大胆な試みとその極限まで野性的な逞しさで実践したきわめて意欲的な実験住宅である。ほとんど立方体の躯体の大半を覆いつくしたスギ板のドイツ下見、同じドイツ下見をそのまま使った庇、天空に向かってぼっかり開いた二階壁、南に突出した檜作りのヴェランダ、建物の中央を貫く白いボックス柱、アメリカ式の合成梁を無造作に並べた根太床天井、敷地に立つ二本のムクの木を見通す高さ5mに及ぶ二層吹き抜けの大ガラス窓、農家の作りを思わせる荒々しい土間と野太い板敷、その土間と板敷の双方にかけ渡した厚板のテーブル、将来の変化を見越した二階の居室構成と仕上げ、いずれも強い意志と断固とした判断で試みられており、感性和情緒豊かな設計者の将来を期待させる。他方、方形屋根が架けられるのにわざわざ雨を貯め込むように造られた陸屋根、下見板そのままの庇、日照過多・清掃困難と思われる大窓、合成梁の野蛮な露出、二階部分の採光など、再考をうながしたい点も多々あるが、それらを乗り越えて突進しようという若々しい意欲と構想力をまず買いたい。

桐敷真次郎



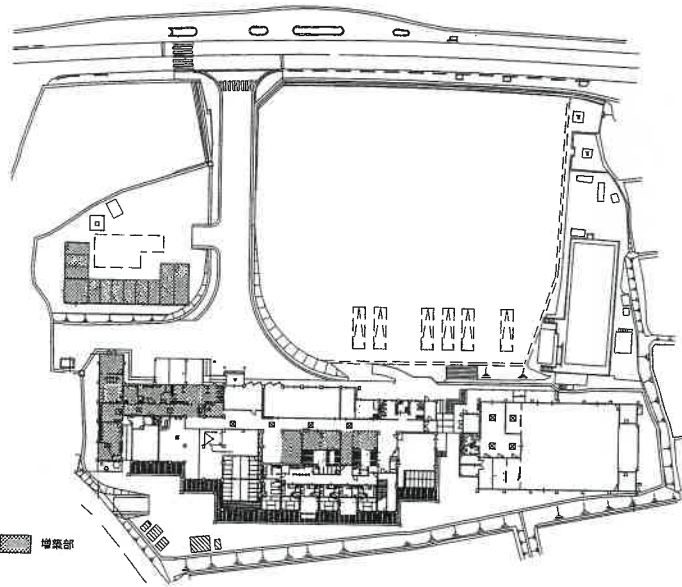


くまもとアートポリス
推進賞選賞

くまもとアートポリス

中央町福祉保健センター「湯の香苑」

事業主 ■ 中央町
 設計者 ■ (有)SDA建築設計事務所
 施工者 ■ (株)岩永組
 (株)九電工松橋営業所
 三和電工設備(株)
 所在地 ■ 下益城郡中央町佐俣305
 竣工 ■ 平成12年3月
 用途 ■ 高齢者福祉施設、保健センター
 階数 ■ 地上2階
 構造 ■ 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
 敷地面積 ■ 10,564.00㎡
 建築面積 ■ 2,586.79㎡
 延床面積 ■ 2,769.51㎡



町や村の小学校の統廃合が進んでいる。この町も例外ではない。児童数約六十人だった中央東小学校は、平成十年度で廃校になった。そして校舎と運動場が残った。

町は、子供たちが学んだこの校舎を、今度はお年寄り向けの施設に転用することを図った。その結果、校舎は高齢者福祉施設と保健センターに生まれ変わった。増築は浴室やトイレ部分にとどめ、ほかは校舎の骨組み、外部もそのまま利用した。しかし一歩、足を踏み入ると、かつての校舎の名残はほとんどない。高齢者や身障者の利用を配慮して、バリアフリーを徹底、自然光を取り込む工夫をして明るいスペースを確保した。

体育館も、三分の一ほどを検診室などの小部屋に作り替えたが、他の床スペースやステージはそのまま、集会や地域のスポーツにも引き続き利用できるよになっている。

総工費五億八千万円。同じ経費ならもっと知恵を絞れたはず、とする選考委員もいたが、その丁寧な仕事ぶりと、リニューアルという取り組み自体が時代の先駆けとなり得るとの評価が、大勢を占めた。

松下純一郎



リニューアル前の町立中央東小学校





くもとアートポリス
推進賞選賞

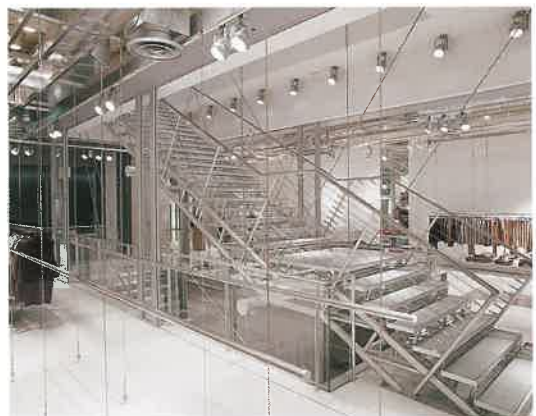
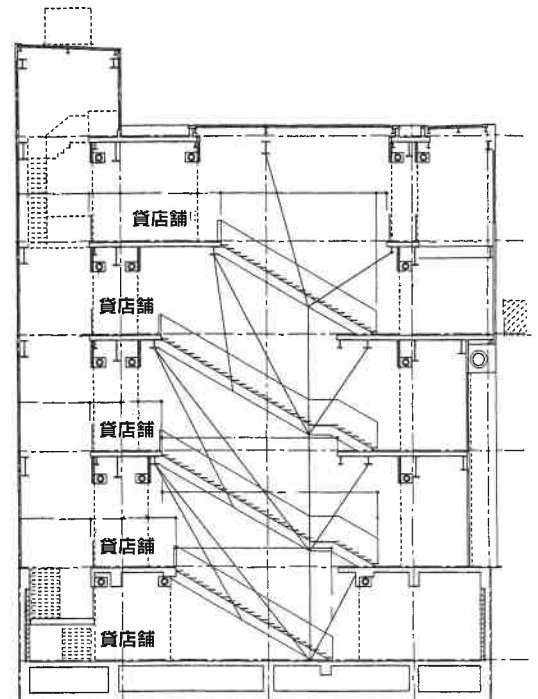
KPD 建築設計事務所

ネクステージビル

事業主 ■ (株) 鶴屋百貨店
 設計者 ■ (有) 美創建築デザイン研究所
 施工者 ■ (株) 建吉組
 (株) 美創
 所在地 ■ 熊本市下通1丁目5-15
 竣工 ■ 平成11年4月
 用途 ■ ファッションビル
 階数 ■ 地上5階、地下1階
 構造 ■ 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
 敷地面積 ■ 330.68㎡
 建築面積 ■ 299.51㎡
 延床面積 ■ 1,381.95㎡

ネクステージビルは、アーケード商店街に立つ建築である。繁華街のなかで高さ10m迄しか通りから見えない。建築の全体空間をうかがうにはアーケードの屋根が邪魔しているのである。この商業建築の見せ方の上手さは、ガラスの透明性を利用し、真中に大きな吹き抜けと階段を配置した所にある。商業床をより広く取るべき建築では、あまり例を見ない物で、建主のデザインに対する考え方が良く表れている。尤も、ファッションという商品、いわば物よりデザインを訴求する目的があるから、当然の判断かもしれない。建築はそれに応えている。フロア構成と吹き抜けの統一という手法は理解できる。しかし、ガラスという透明性をもった材料で空間を造るのであれば、ファサードとエントランスの構成手法にもう一段の工夫が欲しかった。

渡辺定夫





くまもとアートポリス
推進賞選賞

KUMAMOTO POLIS AWARDS

熊本YMCA 阿蘇キャンプメインホール

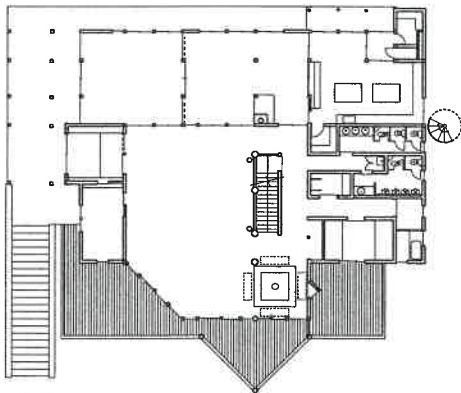
事業主 ■熊本YMCA
設計者 ■(有)風設計室
施工者 ■(株)岩永組
所在地 ■阿蘇郡阿蘇町車帰358
竣工 ■平成11年7月
用途 ■研修、宿泊施設
階数 ■地上2階、地下1階
構造 ■木造+鉄筋コンクリート造
敷地面積 ■5,209.76㎡
建築面積 ■494.40㎡
延床面積 ■699.33㎡

熊本YMCA阿蘇キャンプメインホールは、土地の傾斜と自然の木立ちを上手に活かしながら、入り込みの優しさを考慮し、施設へ足を踏み込むと、それから広がるであろう楽しいプログラムを期待させる景観を作り上げている。

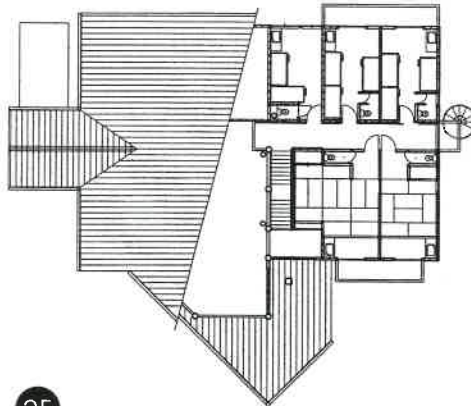
杉丸太の小屋組は丁寧な仕上げで、玄関から広がるメインホールと建物の中央部に位置する階段部分をしっかりとまとめあげている。建物に求められる機能は、自然との触れ合い・集う者同士の多様な交流の実現であろうが、暖炉と掘りこたつ、パッシブソーラーによる床下蓄熱での冬場の集いを容易くし、バリアフリーで車椅子でのウッドデッキへ自由な出入り等、工夫が生きている。

人と環境に優しい施設設計で、自然と融和するデザインを有し、活用のための工夫と、丁寧に良好な施工が高く評価される。

星子邦子



1F



2F

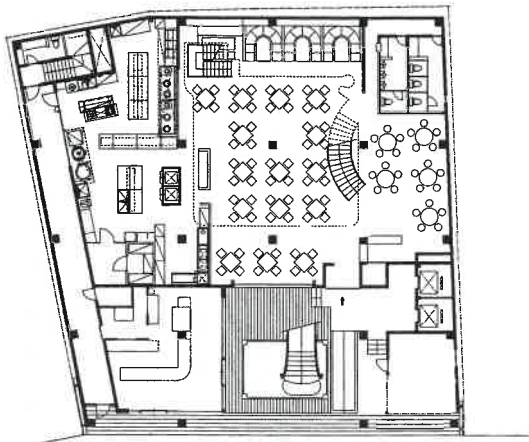




くもとアートポリス
推進賞選賞

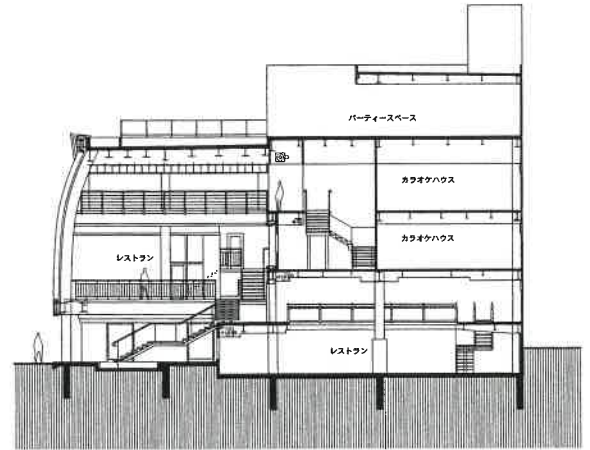
セカンドサイト

事業主 ■丸紅不動産(有)
 設計者 ■(株)アーキグラム
 施工者 ■清水建設(株)九州支店
 (有)サンワ工務店
 所在地 ■熊本市花畑町13-10
 竣工 ■平成10年7月
 用途 ■飲食店ビル
 階数 ■地上5階、地下1階
 構造 ■鉄骨造
 敷地面積 ■691.10㎡
 建築面積 ■651.91㎡
 延床面積 ■2,477.47㎡



熊本市の中心部に建設された、地下1階地上5階の「セカンドサイト」は、まず、鉄に覆われた威圧的な外容で目をひく。この大きな鉄の壁面は、電動で重々しく左右に開閉し、閉所感と解放感を数十秒間で面白く演出する。ビルの用途は、中華料理、イタリアンレストラン、カラオケと多様であるが、一貫しているのは、その物語性であろう。カラオケは、それぞれにテーマをもたせたものであり、イタリアンは端正さで、中華は、時代の判らない不思議な映画のセットにでも迷い込んだような、手のこんだ錯覚を起こさせる仕掛けに充ちている。まさに、この建物は、夜の繁華街に現れた「仕掛け」なのだろう。特に中華料理店の内装・備品は、見るだけでなく、手で触れて、その感触を確かめてみたくなるような興味を覚える。現場審査後の選考会で、この応募作を建築的に見るのか、それとも商業施設として考えるのかという意見が出た。検討の軸足をどちらに置くにせよ、このビルの、この街に於ける役割と使われ方を含めて、「仕掛け」の提案は評価に充分値すると思われる。

轟 多朗



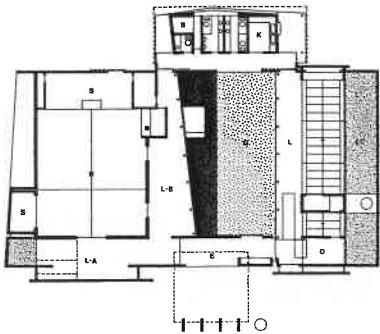
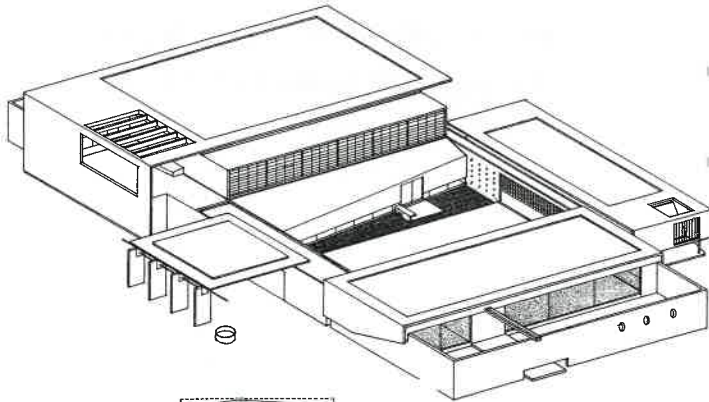


くまもとアートポリス
推進賞選賞

Map Kumamoto Artpolis

霧の斎場

事業主 ■ (有)岡部麗香園
 設計者 ■ 設計組織:RAM
 施工者 ■ 光進建設(株)
 所在地 ■ 球磨郡多良木町多良木字上新地601-3
 竣工 ■ 平成11年6月
 用途 ■ 斎場
 階数 ■ 地上1階
 構造 ■ 鉄筋コンクリート造+鉄骨造
 敷地面積 ■ 3,083.26㎡
 建築面積 ■ 677.65㎡
 延床面積 ■ 628.23㎡



This funeral hall expresses the will of the local community to meet the fundamental moment of death with an optimism which the building expresses by the brightness, lightness and freshness of its modern design. The success of the building is a credit to the architect, and also to the vision of the local community that commissioned it.

It is located between a noisy road and a railway track, and the well-proportioned rooms are grouped around an elegant water garden, which is the quiet focus of the design.

The materials of the building are well chosen - the concrete, steel, wood and plaster all emphasise the different characteristics of each other - and the details are all inventive and carefully made, but simple so that they do not overwhelm the ceremony. The only exceptions to this are the exposed steel frames in the corridor, which some judges felt reduced the sensitive character of the building.

Nevertheless, this building is the work of a young architect with a very mature talent. It is an exceptionally fine work of architecture.

Tom Heneghan

(翻訳)

この斎場は、建物の現代的なデザインが持つ明るさ、軽快さ、新鮮さにより、落ち着いて人の死という重要な時を迎えようとする地域の人々の気持ちが表現されている。

この建物は、地域の人々が設計者を信頼し、設計を任せただけで成功したものだ。

通りの多い道路と鉄道の線路に挟まれた位置にあるものの、うまく調和のとれた部屋が、池を配したエレガントな中庭を囲む。ここは、デザインにおいて静寂さの中心となるところだ。

建物の素材にしてもよく選定されている。コンクリート、鉄骨、木材、しっくい、その全てが、それぞれの特徴をお互いに強調している。ディテールは、シンプルだが、すべて独創的で入念につくられているので、儀式に圧迫感を与えない。一つ難点を言うと、廊下にもき出しになった鉄骨部分については、数名の委員が、この部分によって建物のきめ細やかな特色の質が落とされたとしていた。

しかしながら、この建物は、非凡の才能を持つ若い建築家の作品である。まれに見るすばらしい建物である。

トム・ヘネガン



受賞作品 位置図

くまもとアートポリス推進賞

2000年 第6回



32

■ やつしろハーモニーホール
[八代市]



33

■ 城南の舎
[下益城郡 城南町]



34

■ 中央町福祉保健センター
「湯の香苑」
[下益城郡 中央町]



35

■ ネクステージビル
[熊本市]



36

■ 熊本YMCA
阿蘇キャンプメインホール
[阿蘇郡 阿蘇町]



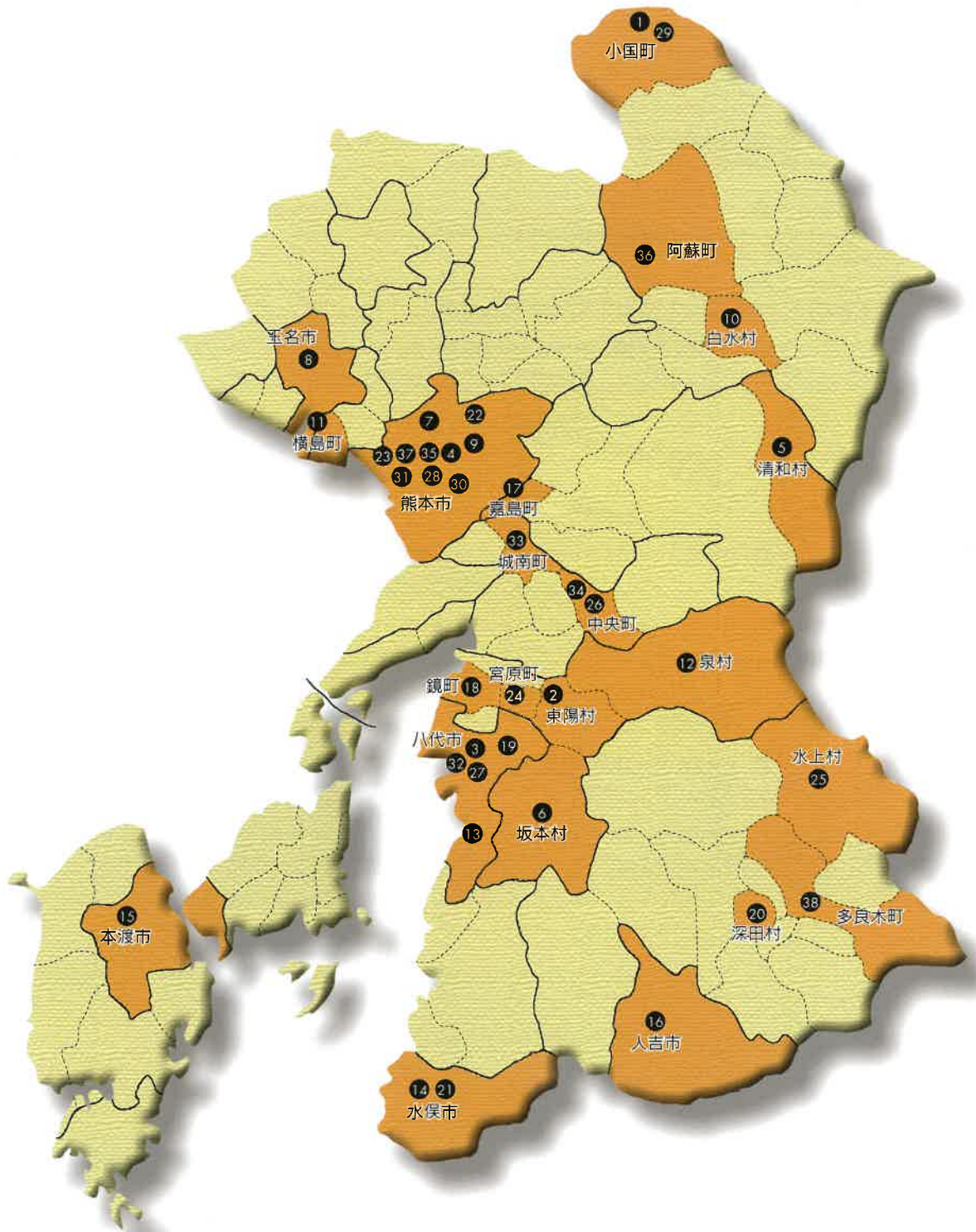
37

■ セカンドサイト
[熊本市]



38

■ 霧の斎場
[球磨郡 多良木町]



撮影：①神原陽一 ③岡本公一 ④富重清治 ⑤石丸捷一

1999年度 第5回



■ 水上村立湯山小学校
[球磨郡水上村]



■ 中央町総合交流ターミナル
「石段の里 佐俣の湯」
[下益城郡中央町]



■ 植柳新町公民館
(地域学習センター)
[八代市]



■ シルワ・エッセ
[熊本市]



■ 50M-棟の森美術館
[阿蘇郡小国町]



■ 宮崎耳鼻科
[熊本市]



■ 矢野邸
[熊本市]

1998年度 第4回



■ 老人保健施設 かがみ苑
[八代郡鏡町]



■ 熊本県信用保証協会
八代支所
[八代市]



■ HOUSE:H-M
[球磨郡深田村]



■ 水俣市保健センター・
水俣市総合もやい直しセンター
[水俣市]



■ 古閑邸
[熊本市]



■ 聖母の丘
[熊本市]



■ 宮原町下宮はまどん公園
[八代郡宮原町]

1997年度 第3回



■ 久連子古代の里
[八代郡泉村]



■ 養護老人ホーム
八代市立保寿寮
[八代市]



■ 水俣市営洗切団地
[水俣市]



■ 丸尾焼工房
[本渡市]



■ 人吉の舎Ⅱ/平井邸
[人吉市]



■ 浮島周辺水辺公園
[上益城郡嘉島町]

1996年度 第2回



■ 慈愛園ノーマンホーム
[熊本市]



■ 阿蘇白水温泉「瑠璃」
[阿蘇郡白水村]



■ ふるさとセンターY・BOX
[玉名郡横島町]

1995年度 第1回



■ 小国町立西里小学校
[阿蘇郡小国町]



■ 東陽村石匠館
[八代郡東陽村]



■ 八代広域行政事務組合
消防本部庁舎
[八代市]



■ 野田市兵衛商店
流通団地営業所
[熊本市]



■ 清和物産館
(四季のふるさと)
[上益城郡清和村]



■ 荒瀬ダムボートハウス
[八代郡坂本村]



■ 出田眼科病院
[熊本市]



■ 尚玄山荘
[玉名市]

■ …くまもとアートポリス推進賞

■ …くまもとアートポリス推進賞選賞

第6回くまもとアートポリス推進賞

■ 募集要項

■ 趣 旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市環境並びに建築文化等の向上を図るとともに、世界への文化情報発信地「熊本」を目指し、後世に残り得る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス構想」を推進しております。

この事業の目的を達成するため、コミッショナーが国の内外から推薦した設計者を参加事業主に紹介するプロジェクト事業や、各種イベントの実施、広報事業等を行い、さらに幅広く県民の皆様のご理解を深めていただくため、平成7年から「くまもとアートポリス推進賞」の表彰を実施しています。

この賞は、質の高い優れた建造物等を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と、都市環境並びに建築文化等の向上を目指し、あわせて豊かな地域づくりを図ることを目的にしております。

■ 表彰対象

平成12年3月以前、概ね5年以内に竣工（改造、改修、修復を含む。）した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等（くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く。）とします。

■ 選考基準

本賞の選考は建造物等の企画、設計、施工及び施設の運用等に関する総合評価に基づき行います。

評価のポイント

- ① 優れたデザインを有しているもの。
- ② 新しい技術的提案や工法の改善がなされているもの。
- ③ 良好な施工が行われているもの。
- ④ ひとや環境にやさしい配慮がなされているもの。
- ⑤ 施設の活用に創意工夫がみられるもの。
- ⑥ 維持・管理が良好なもの
- ⑦ 地域づくりに寄与しているもの。

■ 賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。

事業主（必要に応じて管理者を含む。）、設計者及び施工者に知事が表彰状を贈ります。

また、事業主に銘板を贈ります。

■ 応募資格

自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

■ 選考委員会

- 委員長 堀内 清治（熊本大学名誉教授）
- 委員 岩永 研一（熊本経済同友会副代表幹事）
- 〃 桐敷真次郎（東京都立大学名誉教授）
 - 〃 轟 多 朗（熊本県文化協会理事）
 - 〃 早川 邦彦（早川邦彦建築研究室代表）
 - 〃 トム・ヘネガン（アーキテクチャーファクトリー代表／工学院大学教授）
 - 〃 星子 邦子（オフィスホシコ代表／消費生活コンサルタント）
 - 〃 松下純一郎（熊本日日新聞社社会部次長兼論説委員）
 - 〃 渡辺 定夫（工学院大学教授）

（五十音順）

■ 選考経過

- 募 集 平成12年7月1日～8月10日 応募件数 54件
- 書類選考 平成12年8月25日
- 現地審査 平成12年9月18日～20日 現地審査件数 12件
- 最終選考 平成12年9月20日 受賞件数 7件
- 表 彰 式 平成12年11月11日

熊本県

土木部建築課

〒862-8570

熊本市水前寺6丁目18番1号

TEL. 096(383)1111(内線6215)

FAX. 096(384)9820

インターネットホームページ <http://www.artpolis.net/>



くまもとアートポリスのマーク

シンボルマークは3つの楕円と1つの小さな丸で構成されています。

3つの楕円は、左から順に「地球／世界」「くまもとアートポリス／熊本」「ひと／地域」が、互いにつながっていることをあらわします。

楕円の傾きは地球の地軸の傾き（太陽を中心とする公転軌道に対する地球の軸／南北軸の傾き）と同じ23.5度です。

シンボルマークは、くまもとアートポリスの目標「地域と対話、地球とネットワーク」に対応しています。くまもとアートポリスは、地域に生活する人々と対話しながら様々な建造物や環境を創造します。同時にこのような活動は、常に地球規模のネットワークとも繋がりが、世界的な環境への配慮や地域文化的な広がりをもっていることを示しています。

第6回

くまもとアートポリス推進賞 作品募集

趣旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市環境並びに建築文化等の向上を図るとともに、世界への文化情報発信地「熊本」を目指し、後世に残り得る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス構想」を推進しております。

この事業の目的を達成するため、コミッショナーが国の内外から推薦した設計者を参加事業主に紹介するプロジェクト事業や、各種イベントの実施、広報事業等を行い、さらに幅広く県民の皆様のご理解を深めていただくため、平成7年から「くまもとアートポリス推進賞」の表彰を実施しています。

この賞は、質の高い優れた建造物等を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と、都市環境並びに建築文化等の向上を目指し、あわせて豊かな地域づくりを図ることを目的にしております。

1999年度 第5回受賞作品

くまもとアートポリス推進賞



くまもとアートポリス推進賞選賞



熊本県



募集要項

表彰対象

平成12年3月以前、概ね5年以内に竣工（改造、改修、修復を含む。）した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等（くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く。）とします。

選考基準

本賞の選考は建造物等の企画、設計、施工及び施設の運用等に関する総合評価に基づき行います。

評価のポイント

- ①優れたデザインを有しているもの。
- ②新しい技術的提案や工法の改善がなされているもの。
- ③良好な施工が行われているもの。
- ④ひとや環境にやさしい配慮がなされているもの。
- ⑤施設の活用に創意工夫がみられるもの。
- ⑥維持・管理が良好なもの。
- ⑦地域づくりに寄与しているもの。

賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。
事業主（必要に応じて管理者を含む。）、設計者及び施工者に知事が表彰状を贈ります。また、事業主に銘板を贈ります。

募集期間

平成12年7月1日から8月10日まで。
なお、郵送の場合は当日消印有効とします。

応募資格

自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

応募方法

応募用紙に必要な事項をご記入のうえ添付資料を添えて、熊本県土木部建築課アートポリス班まで提出して下さい。応募者は、あらかじめ事業主、設計者、施工者の了解を得て下さい。

選考委員会

委員長

堀内 清 治（熊本大学名誉教授）

委員

岩 永 研 一（熊本経済同友会副代表幹事）
桐敷真次郎（東京都立大学名誉教授）
轟 多 朗（熊本県文化協会理事）
早 川 邦 彦（早川邦彦建築研究室代表）
トムヘネガン（アーキテクチャーファクトリー代表/工学院大学教授）
星 子 邦 子（オフィスホシコ代表/消費生活コンサルタント）
松下純一郎（熊本日日新聞社社会部次長兼論説委員）
渡 辺 定 夫（工学院大学教授）
（五十音順）

発表

平成12年10月（予定）、該当者及び全応募者に通知いたします。

表彰

平成12年11月（予定）、表彰式を行います。

その他

応募資料は返却しませんので、必要な場合はあらかじめ各自複写をお願いします。

提出先・問い合わせ先

熊本県土木部建築課アートポリス班
〒862-8570 熊本市水前寺6丁目18番1号
TEL 096(383)1111(内線6215)
FAX 096(384)9820
ホームページ：<http://www.artpolis.net/>

第6回 くまもとアートポリス推進賞 応募用紙

応募者

【氏名・所属等】 _____ 【電話番号】 _____
【住所】〒 _____ 【FAX番号】 _____

対象建造物等

【名称】 _____ 【用途】 _____
【所在地】 _____
【竣工年月】平成 ____ 年 ____ 月 ____ 【構造】 _____ 【階数】 _____
【敷地面積】 _____ m² 【建築面積】 _____ m² 【延床面積】 _____ m²

- 対象建造物に関する以下の項目についても、なるべく記入して下さい。なお、よくわからない項目は記入しなくても結構です。
管理者は特に推薦するに値すると思われる場合に記入して下さい。
- 建築物以外については、項目を適宜修正して記入して下さい。

事業主

【会社名・氏名】 _____ 【電話番号】 _____
【住所】〒 _____ 【FAX番号】 _____

設計者

【会社名・氏名】 _____ 【電話番号】 _____
【住所】〒 _____ 【FAX番号】 _____

施工者

【会社名・氏名】 _____ 【電話番号】 _____
【住所】〒 _____ 【FAX番号】 _____

管理者等

【会社名・氏名】 _____ 【電話番号】 _____
【住所】〒 _____ 【FAX番号】 _____

- 以上の欄で記入しきれない場合は、下欄に記入して下さい。

【事業主等の別】	【会社名・氏名】	【住所】	【電話番号】

添付資料

- 写真 外観および内観の写真をA4版の用紙2枚以内に貼り付けて下さい。内部写真が撮れない場合は外観写真だけでもかまいません。
- 図面 施設の内容がわかる図面などを、A4版の用紙2枚以内に貼り付けて下さい。

